



日時: 2014年 6月10日(火)
13時15分～17時45分

会場: 帝京大学霞が関キャンパス
教室1・2
東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー9階 電話: 03-5213-4502

交通: 東京メトロ有楽町線, 半蔵門線, 南北線
「永田町駅」より徒歩約1分(4番出口)
銀座線, 丸ノ内線 「赤坂見附駅」より
徒歩約6分 (7番出口)

参加費: 無料

お申込み先:
帝京大学ジョイントプログラムセンター
田沼唯士
FAX 03-3964-5486
E-mail: t-tanuma@med.teikyo-u.ac.jp
参加申込みはできるだけ電子メールにてお
願いします。
定員: 先着70名
申込み期限: 6月2日月曜日
(ただし定員になり次第申込みを締切ります)



世界のエネルギー情勢と課題: 再生可能エネルギーの進展と既存発電システム

地球規模でのエネルギー・環境問題への対応・克服には、需給構造のベストミックスとコストの低減及びCO2の制約内での安定供給が望まれます。東日本大震災以降、原子力発電と火力発電の供給割合が大きく変化し、地球環境保全の観点からも消費者が負担する費用の観点からも理解が得られる合理的で現実的な電力・エネルギー供給の将来像が必要とされています。今回は、世界のエネルギー情勢、特に再生可能エネルギーの最近の進展と従来型エネルギーシステムとの関連を中心として、経済学と工学など複眼的視野を融合させて、エネルギー・電力の安定供給に関する課題と施策、そして将来像の講演を行います。施策実現に向けて教育と研究が果たすべき役割についても考えたいと思います。

プログラム

- 13:15 - 13:25 開会挨拶
帝京大学理事長・学長 冲永 佳史
- 13:25 - 14:05 基調講演 「世界エネルギー情勢と
ポスト福島のアトミックの役割」
田中伸男 前国際エネルギー機関事務局長
東京大学公共政策大学院客員教授
- 14:05 - 14:45 「世界経済とエネルギー産業の変化・ゆくえ」
郭 四志 帝京大学教授 経済学部
- 14:45 - 15:25 「中国の再生可能エネルギー産業
—太陽電池産業あるいは太陽エネルギー産業を中心に—」
丸川知雄 東京大学社会科学研究所教授
- 15:25 - 15:40 休憩
- 15:40 - 16:20 「長期未来のエネルギー問題と再生可能
エネルギーの可能性: 英蘭系エネルギー企業 ロイヤル・
ダッチ・シェルのシナリオプランニングチームの見解から」
角和昌浩 昭和シェル石油 チーフエコノミスト
東京大学公共政策大学院客員教授
- 16:20 - 17:00 「電力システムにおける再生可能
エネルギー利用の技術課題」
船橋 信之 火力原子力発電技術協会
専務理事
- 17:00 - 17:40 「発電システムにおける環境調和・
省エネルギー技術と技術及びコストの課題」
田沼 唯士 帝京大学教授
ジョイントプログラムセンター、理工学部兼任
- 17:40 - 17:45 まとめの挨拶 廣田 功
帝京大学経済学部 部長

(講演題目と内容の一部が変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。)

主催: 帝京大学 (ジョイントプログラムセンター・経済学部)